
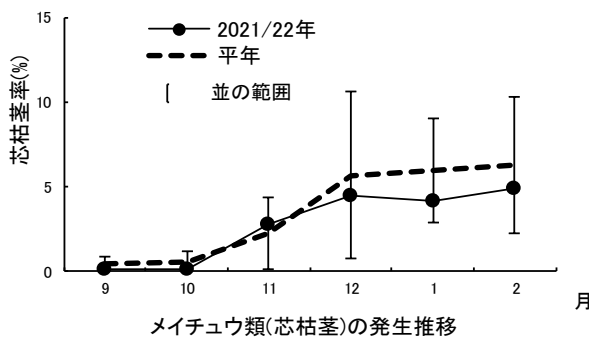


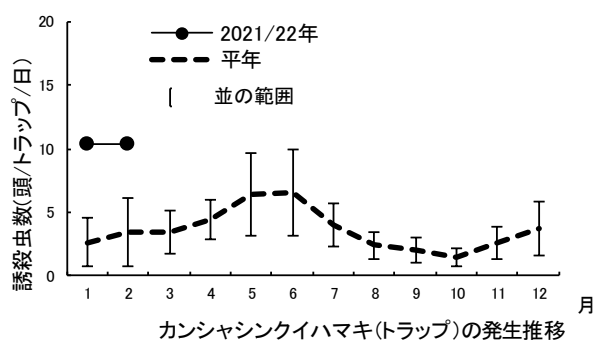
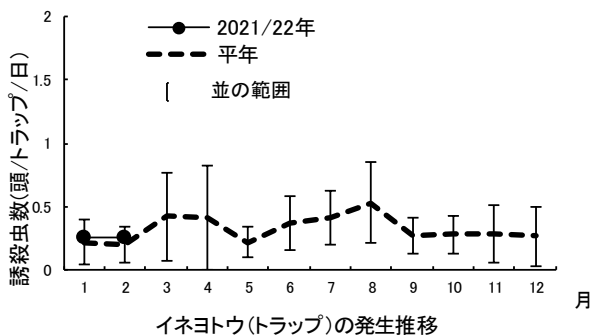
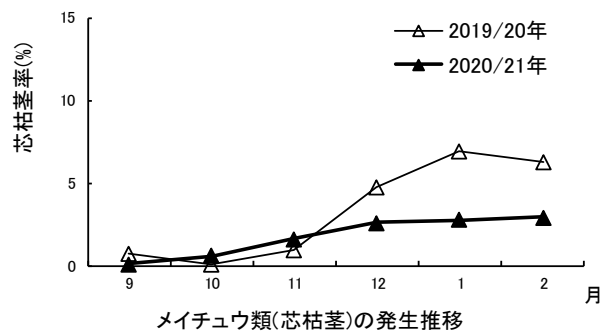
作物	さとうきび		地域	沖縄群島
病害虫名	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ・イネヨトウ)			
調査結果	2 月の発生量 (平年比)	並		
予報	2 月からの増減傾向	—		
		3 月の発生量 (平年比)	—	
予報の根拠				

調査結果

今期と平年の推移



過去 2 年の推移



- ・ 沖縄本島の茎内で確認されたメイチュウ類の82%(18/22頭)がカンシャシクイハマキ、18%(4/22頭)がイネヨトウであった。
- ・ 病害虫防除員報告：多発生（伊江島）

防除のポイント

- ・ ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・ 加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・ ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・ 乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間に散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- ・ 植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。